

# 「奥州市における部活動に関する方針」の実施状況アンケート結果(中学校用)

奥州市教育委員会

## 1 部活動に関する方針(ガイドライン)について

(1) 学校における「部活動に関する方針(ガイドライン)」を策定していますか。

策定済みである	策定していない	今後、策定する予定である
100%	0%	0%

(2) 学校における「部活動に関する方針(ガイドライン)」を、保護者に対して、どのように周知していますか。

学校HP	プリントで配付	P T A総会で説明	各部活動の保護者代表の会の中で説明
0%	11%	44%	44%

(3) 学校の「部活動に関する方針(ガイドライン)」では、休養日について、どのように設けていますか。

平日1日以上、週末1日以上の休養日のみ設けている	週末1日以上、平日1日以上の休養日のみ設けている	平日1日以上、週末1日以上の両方の休養日設けている	休養日については、設けていない
0%	0%	100%	0%

(4) 学校の「部活動に関する方針(ガイドライン)」では、活動時間について、どのように設けていますか。

部活動を補完する活動も含み、平日2時間程度、学校の休業日3時間程度としている	部活動を補完する活動も除き、平日2時間程度、学校の休業日3時間程度としている	活動時間については、設けていない
100%	0%	0%

(5) 学校の「部活動に関する方針(ガイドライン)」では、部活動の適切な指導について、どのように設けていますか。(複数回答可)

・生徒の心の健康管理への配慮	8校
・生徒の体の健康管理への配慮	8校
・事故防止	5校
・体罰・ハラスメントの禁止	3校
・その他 (生徒の実態(生徒間トラブルや、上級生の行き過ぎた管理等)を把握し、指導する)	1校

## 2 部活動に関する方針(ガイドライン)の運用について

(1) 部活動や部活動を補完する活動について、休業日や活動時間を、学校ではどのように確認していますか。  
(複数回答可)

顧問が作成する各部の毎月の活動計画(活動報告)による	すべての部が掲載された活動計画(活動報告)一覧表の作成による	その他 (全顧問が作成した各部の毎月の活動計画を一斉掲示)
8校	1校	1校

(2) 部活動休業日(学校の休業日)に大会参加等で活動した場合、どのように対応していますか。(複数回答可)

部活動休業日を、他の学校の休業日に振り替えている	部活動休業日を、平日に振り替えている	他の日の活動時間で調整している
7校	6校	1校

(3) 学校の「部活動に関する方針(ガイドライン)」では、部活動の適切な指導について、部顧問に対して、どのように対応していますか。(複数回答可)

学校での講習会の実施	学校外での講習会への参加	対応していない	その他 (年度初めの職員会議で対応) (顧問を通じての連絡、指導)
4校	1校	3校	2校

(4) 学校の「部活動に関する方針(ガイドライン)」では、部活動の適切な指導について、外部コーチに対して、どのように対応していますか。(複数回答可)

学校での講習会の実施	学校外での講習会への参加	対応していない	その他 (年度初めに部活動運営会議を開催し対応)
2校	0校	5校	2校

(5) 学校単位で参加する大会について、見直しを行っていますか。

参加する回数や基準を設けた	今後、検討する予定である	検討する予定はない	その他 (必要に応じて検討予定) (各部での対応)
0%	56%	22%	22%

### 3 部活動指導員について

(1) 令和元年度、学校に部活動指導員は配置されていますか。

配置されている	配置されていない
7校	2校

(2) 部活動指導員における成果と課題について記述してください。

① 成果	・部活動顧問の負担軽減	6校
	・専門性を活かした指導を行うことによる、競技力・技術力の向上	5校
	・生徒の意識・意欲（部活動・学校生活）の向上	3校
	・生徒、保護者のニーズに応えることができ、学校への信頼が増した。	1校
② 課題	・部活動指導員の活動時間に制限があり、十分な指導ができないことがある	4校
	・生徒の個人情報や、施設の鍵の管理など、どこまで任せてよいか、明確ではない	2校
	・勤務条件など、周囲の理解を進めること	1校
	・配置人数の拡大	1校
	・育成年代の指導者としての考え方等、適切な講習の機会を設けての人材育成	1校
	・現地集合とした場合、部活動指導員の現地までの交通費が無償であること	1校

## 4 部活動に関する方針(ガイドライン)の成果・課題について(自由記述)

(1) 奥州市における部活動の在り方に関する方針や、学校の部活動ガイドラインの成果について。

### ① 生徒にとっての成果

・精神的、肉体的な疲労の軽減・怪我や事故の防止	5校
・家族との時間の確保	5校
・家庭学習の時間確保	5校
・時間に対する意識が高まり、集中して部活動に取り組むようになった。	4校
・休日、地域活動へ参加する生徒が増えた。	1校
・休業日が設定されたことにより、通塾や通院の日程調整が容易になった。	1校
・活動時間や休養日を明確に示したことにより、過度な活動の抑制につながった。	1校
・1人の時間を持つことが出来る。	1校
・部活動とスポ少活動とのすみ分けができた。	1校

### ② 顧問・外部コーチ・部活動指導員等にとっての成果

・練習内容や活動時間を見直し、効率的な指導を取り入れるようになった。	5校
・休養日の確保により、負担の軽減に繋がった。	4校
・ガイドラインにより、生徒の生活を指導する際の土台となった。	1校
・部活動における適切な指導の在り方が周知された	1校
・部活動の運営がしやすくなった。	1校
・生徒の体調に気を配る指導者が多くなった。	1校
・長時間の練習による勝利至上主義から、心の成長を期待できる指導への転換。	1校
・生徒と過ごす時間が増加した。	1校
・部活動とスポ少活動とのすみ分けができた。	1校

### ③ そのほかの成果

・生徒指導や教材研究など、本来の職務への時間の確保。	1校
・学校施設の開放規定など、慣習的な内容の見直し。	1校
・ガイドラインの設定により、各会議、会合において、方針説明の根拠としての活用。	1校
・部活動・保護者会活動に対する保護者との共通理解	1校
・月曜日に体調を崩す生徒が少なくなった。	1校
・成績の伸びた生徒が多数いた。(特に昨年まで父母会練習が長かった生徒)	1校
・学校生活の中で笑顔が多くなった生徒が多数見られた。	1校

(2) 奥州市における部活動の在り方に関する方針や、学校の部活動ガイドラインの課題について。

① 生徒にとっての課題

・家庭で過ごす時間の使い方。	3校
・活動時間の保障。(延長のない平日は、ほとんど練習時間がとれない)	2校
・練習時間の効果的な活用。	2校
・自主的な外部団体への参加について、活動時間の長さ、休養日の少なさから、生徒に疲労が見られる。	2校
・運動不足・肥満生徒の増加。	1校
・生徒数の減少で活動したい部に制限があること	1校
・体力や技術力の向上が緩やかになるかもしれないこと。	1校

② 顧問・外部コーチ・部活動指導員等にとっての課題

・外部団体や保護者、コーチなど部活動の方針について理解を得られず、勝利至上主義に陥ってしまっていること。	5校
・活動時間の制限による、社会体育施設等の活動場所の不足	2校
・活動方針に沿いながら、活動時間内での指導の工夫。	2校
・外部団体等に任せた方が競技力の向上にはよいのかもしれないが、生徒指導の観点から顧問が部活動に関わることも大切である。バランスの難しさを感じる。	1校
・教職員、保護者、外部指導者等が共通理解を図る機会の設定。	1校
・ガイドライン策定前の在り方から脱却できないこと。	1校
・専門的な研修の機会	1校
・多少の負担軽減にはなっているが、顧問としての負担は大きいままであり、根本的な解決には至っていないこと。	1校
・部活動方針への協力を外部団体にもお願いしていくこと	1校

③ そのほかの課題

・各市町村・各校のガイドラインの足並みをそろえること。	3校
・中体連、中文連、各競技団体等、大会の在り方や大会数などについて検討するように働きかけること。	3校
・行き過ぎた父母会活動の抑制	2校
・地域総合型スポーツクラブへの移行を進めるべき。	1校
・ガイドラインを守ろうとするあまり部活動の時間が少ない。	1校
・父母会内の意見の相違によるトラブル	1校
・保護者や地域に対して、部活動の在り方の周知をさらに進めること	1校
・読書の習慣化に対する教師、保護者の意識改革	1校